

## 【家庭教育支援チーム】

### (1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	坂東市家庭教育支援チーム (呼称: 坂東市訪問型家庭教育支援チーム)
②活動拠点	坂東市役所 (教育委員会生涯学習課)
③活動範囲	坂東市全域
④組織体制	10人 元教員 5人、民生委員 1人、社会教育委員 1名 更生保護女性会員 1名、分館関係者 1名、元団体職員 1名
⑤活動開始年度	平成 28 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 坂東市教育委員会生涯学習課 社会教育主事 増淵 晋 (TEL)0297-21-2204(直通) (E-mail)gakusyu@city.bando.ibaraki.jp

### (2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">}</div> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)  <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)  <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)         </div> </div> <input type="checkbox"/> その他( )
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 18歳未満の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	<b>【具体的な活動内容】</b> ・市内小中学校において、不登校児童生徒をもつ家庭に対し、訪問及び不安や悩みを傾聴することで保護者に寄り添い、市保健部局や関連機関と連携して家庭問題の解決を図り、不登校児童生徒の健全な教育環境への復帰を目指す。具体的には、月に2～3回ペースで訪問したり、電話や手紙、メール等でも相談を行ったりする。 ・定期的に年6回の協議会を実施し、協議会委員及び外部講師等に報告を行い、今後の対応策を検討したり助言を受けたりする。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員は2名で1チームとし、複数の家庭を担当する。学校とのケース会議にも参加し、担任やスクールカウンセラー、生徒指導担当教諭や養護教諭と情報交換を行いながら家庭支援を行う。</li> <li>・家庭の要望により、学習の補助や進学及び就職についての相談を受けることがあるので、学校や地域、社会福祉士と連携した支援を行っている。具体的には就労に向けた相談や職場体験などを実施している。</li> <li>・訪問した内容を記録し、成果や課題についてまとめ、今後の方向性について協議を行う。</li> <li>・支援員養成講座に参加し、コミュニケーション力や傾聴、カウンセリングマインドの手法等スキルアップに努めている。</li> </ul>
<p><b>④活動の成果</b> (活動実績がある場合)</p>	<p>年々、学校からの依頼も増え、携わる家庭数も多くなっている。また、年度途中のスポット的な相談の機会もあり、初期対応ができることによって早々の改善につながったケースもある。長期に渡って関わっている家庭については、築いてきた信頼関係を第一に考え、いつでも相談できる理解者としての寄り添いを続けている。</p> <p>活動の中で改善傾向ととらえられる事象は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①訪問を快く受け入れるようになる(孤立化の防止、相談者の存在)</li> <li>②児童生徒が短時間や放課後登校を始める(環境や意識の変化)</li> <li>③子供たちや保護者が前向きになり、可能性を見出す等の変化が挙げられる。(具体的な行動の前の未来へ向かう気持ちの醸成)</li> </ul> <p>今後も地道な訪問や連絡を通し、社会とのつながりを実感できるような「届ける支援」という使命感をもち、誠意をもって訪問、支援を行っていきたい。</p>
<p><b>⑤活動財源</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</li> <li><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名: )</li> <li><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</li> <li><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</li> <li><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ( )</li> </ul>